

目標達成計画

作成日: 令和 8年 3月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	個々の認知症状態に応じたケアの充実が必要。現場職員が「なぜこのケアを行うのか」という根拠を持たずに業務に当たっている。	ケアプランの見直しを行い、個別性の高いプランを作成する。 個別ケアの質向上、安心して生活できる環境整備する。	ケアプラン定期見直し、日々のケアがケアプランの短期・長期目標に対してどの程度到達しているかを随時確認できる環境を整える。認知症研修、生活歴活用など。	12ヶ月
2	2	外出機会は多くなったが、入居者と地域の方との交流をさらに強化。	引き続き感染症の対策を行いながら、家族とも協力し合い、地域への外出、馴染みの場所へ外出し地域の方との交流を積極的に行い、豊かな生活を送る。	家族と協力し合いながら地域のイベント、清掃活動の参加。近隣のお店へ、食事や買い物を行う。5のつく日のサロン活動に入居者も参加し地域の方と一緒に体操や調理をしたりお話しをする。ホーム内での企画も多く行い、家族や地域の方との交流をさらに深めていく。 移動店舗の買い物、音楽サロンにも参加し人とのつながりを大事にする。	12ヶ月
3	8	利用者の健康状態や生活の変化の共有や報告ができておらず、迅速で的確な対応が不十分になっている。	利用者の情報を一元管理し、スタッフが常に最新の情報を閲覧できるようにする。 ささいな変化を「兆候」として捉え、重症化予防や意向の実現に迅速に繋げる。	紙の記録からデジタルへ移行し、利用者の「日々の声」や「小さな変化」を共有する。 健康状態に急激な変化があった場合などは、情報をすぐに伝達して、最適なケアを提供できるようにする。特に重要な情報は主任、管理者に必ず報告する運用を徹底する。 1回15分程度の短い時間でも、特定の利用者について意見交換を行う「ミニケア会議」をこまめに実施する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。



自己評価・外部評価 評価表 (あすならホーム今小路)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼで きて い	で きて い ない	全 く で きて い ない		
<b>I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]</b>								
<b>(1) 理念の明確化</b>								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	9	4	2		未回答1名 法人理念「大切にしたい7つの事」を掲げている	
<b>(2) 適切な人材の育成</b>								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	2	12	2		会議や学習会を通して理念の共有を行っている	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	4	6	6		入職後には手引きシートを使った入社教育と研修、職員には2か月に1回職員学習会と法人内研修を、必要に応じて外部研修を行っている	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	8	6		未回答1名 年2回管理者、リーダーが職員との考課面談を行い、職員一人ひとりの目標設定を行っている	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	1	3	12		体調不良があれば医療職と連携を随時行っている。	
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	3	5	6		未回答1名 ユニット毎の利用者の特性に合わせた職員配置を行っている	



タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼで でき てい	こ どが 多 い ない	な 全 く で き て い		
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	2	8	4		未回答2名 毎月、医療会議開催し情報共有している。 内部看護師との連携をすることで医療ニーズの高い方でも暮らし続けることが出来る	
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	6	4		未回答1名 支援経過、介護計画書で職員の情報共有を行っている	
<b>(5) 安全管理の徹底</b>								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	6	7	4		年2回の消防避難訓練や防災食対応を行っている。 職員は非常時行動マニュアルを所持している。災害訓練を9/1と3/11に行っている。 BCP訓練も定期的に行い、計画準備振り返りを行っている	
利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	2	10	4		未回答1名 契約時に個人情報の取り扱いの説明を行っている。 利用者ファイルは鍵付きの書庫で管理を行っている	
<b>II 過程評価 (Process)</b>								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほほできてい	こできていない	な全くできてい		
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	3	7	6		入居前に自宅に伺い、本人と直接話をし、生活リズムの聞き取りを行っている	
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	1	7	7		未回答1名 定期的な会議の場で情報共有が行われている	
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	4	7	4		未回答1名 10の基本ケアを実践することで生活リハビリを通してADL向上に努めている	
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	2	10	3		未回答1名 契約時に看取り及び重度化対応指針、ターミナルケアの意向伺い書を説明するとともに同意を頂いている	
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	2	9	3		未回答2名	
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	3	5	6	1	未回答1名 支援経過、介護計画書を用いて本人の心身状態の把握に努めている。	

自己評価・外部評価 評価表 (あすなら(一)ム今小路)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほほできている	できていない	全くできていない		
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	2	8	4	1	未回答1名 緊急時や体調不良時の対応をかかりつけ医や看護師に確認を行い、随時行っている	
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	3	6	3	3	未回答1名 内部看護師と連携し医療的なケアに関する助言が行われている	
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>								
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	2	10	2		未回答2名 入居時には自宅で使っている家具を持ってきてもらい居心地よく過ごせる環境を整備している。	
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている		9	5	1	未回答1名 本人の希望に沿ったケアプランを作成している	
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	3	10	2		未回答1名 随時、連絡、相談を行い、サービス提供に反映している	
<b>2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント</b>								
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>								
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	6	6	2		未回答1名 事業所内部の会議を通して管理者、ケアマネジャーの情報共有が行われている	
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	6	6	2		地元のお店や美容室、移動店舗での買い物、地域の清掃活動参加を行っている	

自己評価・外部評価 評価表 (あすならホム今小路)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほ ぼで きてい	でき てい ない	全 く でき てい		
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	2	6	4	1	未回答3名 かかりつけ医には随時、確認を行っている。 歯科診療や訪問薬剤も必要に応じて情報共有を行っている。	
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>								
利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	1	3	1	2	未回答7名	
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	4	5	2		未回答6	
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	2	5	3		未回答7名	
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>								
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>								

自己評価・外部評価 評価表 (あすなら(一)今小路)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほほでできている	できていない	全くできていない		
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	2	5	6	1	未回答2名 運営推進会議の議事録を事務所にて保管、開示されている	
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	2	6	5		未回答3名 運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、包括の広報を定期的に行っている	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	3	7	5	1	定期的な研修、学習会を通して周知を行っている	
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	3	11	1		未回答1名 地域密着サービスの範囲内において展開されている	
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	3	4	3		未回答6名	
<b>Ⅲ 結果評価 (Outcome)</b>								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	2	4	10		計画書による目標の設定と振り返りを行っている	

自己評価・外部評価 評価表 (あすならホム今小路)

2025 年度分

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できている	るほほできている	できていることが多い	全くできていない		
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	1	9	4	未回答2名 本人の身体に合わせた机、椅子、ベッドを使うことで安心、安全に過ごせるようにしている。居室も家具等で手のつく場所を確保し、安心安全に自立した生活を送れるようにしてい		